

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 03 11	中期総合計画主要施策番号		3-08	担当課	部・課	林務部 森林づくり推進課	
事業名		治山施設災害復旧事業					内線	3261	
							E-mail	shinrin@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	異常な天然現象により被災した治山施設の従前の効用を回復する工事を実施し、施設の機能を維持することにより県民の安全・安心な暮らしを確保する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 地すべりの発生、豪雨等により、治山えん堤等の施設災害が発生している。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 集中豪雨の多発、急峻脆弱な地形・地質、施設の老朽化により、災害時に施設の被災が発生している。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 従前の機能を回復させ、県民の安全・安心な暮らしを確保するため、被災した施設の早期復旧が必要である。							
	事業内容	災害により被災した既設治山施設・地すべり防止施設の復旧または従前の効用を回復する工事、被災原因を排除する工事を実施する。 林地荒廃防止施設(地すべり防止施設)災害復旧事業 (補助率:【国】0.667【県】0.333)							
実施期間	～		根拠法令等						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	被災した治山施設の早期復旧を図り、安全を確保する。		災害発生当年度に、復旧工事に着手する。			3箇所全ての復旧工事に着手した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	69,076	223,078	296,144	国庫・県単	公共	
	決 算 額 (B)		千円	61,027	158,539		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	322	3,777	1,617	歳出節別内訳等	予算現額(最終予算額+繰越額) 264,386 1箇所当り平均工事期間 1.5年	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.00	3.00	3.00	(単位: 千円)		
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	61,027	158,539	296,144			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	事業実施箇所数		箇所	3	3	4	H20年度完了箇所数:3箇所		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・H16年長野市七久保、H19年安曇野市 長久保、H20年小谷村 小土山、長野市 鬼無里 原等、再発性の地すべり災害が発生するなど、事業のニーズは高い状態で推移している。 ・森林法等により、施設の管理は県が行うものとされている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		被災した施設に対する緊急対応については概ね期待どおりの成果が得られており、引き続き施設の適切な維持管理を行うとともに、施設が被災した際には、被災施設の効用の早期復旧を図る。						